

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリオ横須賀中央新築工事	階数	地上15F地下1F
建設地	横須賀市大滝町2丁目1-4、1-5、1-8、1-9、1-10、1-11、1-12、1-13、1-14、2-6	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	204 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年9月23日
敷地面積	513 m ²	作成者	共同エンジニアリング株式会社
建築面積	395 m ²	確認日	2016年9月23日
延床面積	4,958 m ²	確認者	共同エンジニアリング株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項	
総合 住宅性能評価を取得し断熱性能、建物躯体耐久性の向上を目指し、環境に配慮した建材や材料を採用している。	その他 特になし
Q1 室内環境 遮音性能やF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。また、専有部分において高い昼光率を確保し、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3を取得し、躯体の耐久性向上に努めている。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量を基準値の95%とし、省エネルギー性能の向上に努めている。	LR2 資源・マテリアル 特になし
	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数40.01%とし、良好な景観を形成している。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値の76%とし、敷地外環境の向上に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される